

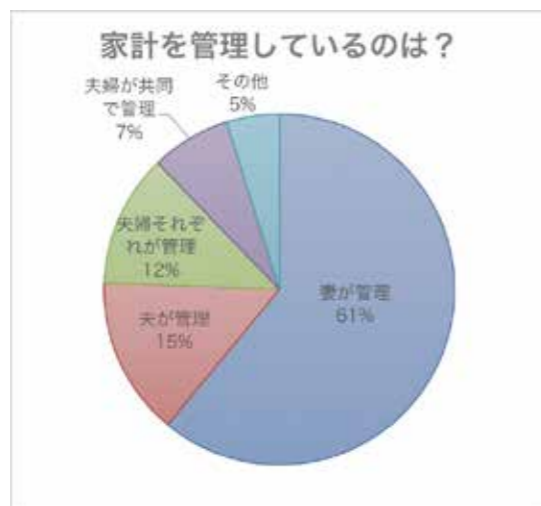
「やりくりは心がけていても、不安が残る」 家計をプロに相談したいママが多数 子育て世帯の6割、「妻が家計を管理」

株式会社クルール・プロジェ(栃木県宇都宮市/代表取締役 阿久津 潤)は、2005年より10年以上に渡り、子育てママ向けフリーペーパー「クルール」を発行してきました。このたびクルール・プロジェでは、子育て世帯の家計に関する意識を知るため、主に未就学児を育てる母親を対象に意識調査を行いました。

調査の結果、「妻が家計を管理する家庭が多数派」「自分でもやりくりを頑張っているが、やはりプロのファイナンシャルプランナーに相談してみたい」といった傾向が見えてきました。

●調査方法:インターネット調査●対象エリア:栃木県・茨城県・群馬県・埼玉県●調査対象:保育園や幼稚園に通う子どものママを中心としたクルール会員調査81名●調査期間:2018年1月31日~2月4日

■家計は「妻が管理」が6割だが、「別財布」「共同で管理」の家庭も

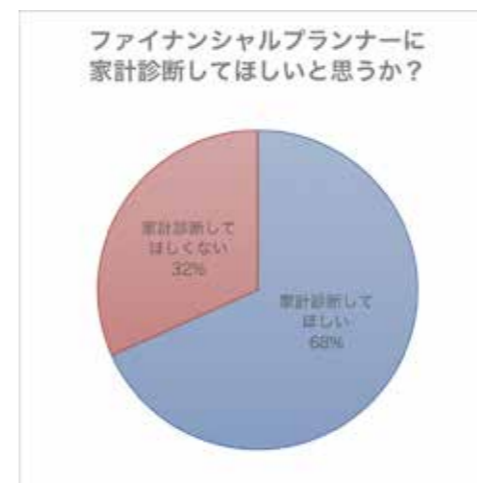


6割以上の家庭が「妻が管理」と答えており、現在の子育て家庭でも「財布の紐を握るのは女性」という従来の家族イメージを踏襲した家庭が依然として多いことがわかります。

しかし、「お金の管理はすべて夫に任せている(茨城・パート・0歳の母)」「お金は主人が管理、私は生活費(食費と雑費のみ)をもらっていて主人のお給料を知らない(群馬・育休中・6歳と2歳の母)」など、「夫が管理」と回答した家庭も15%存在。

また、共働き家庭を中心として「それぞれが管理していて、お互いに具体的な貯金額の話はしない(埼玉・正社員・1歳の母)」のように「夫婦別財布」という家庭や、「二人の共有口座で管理しており、その口座に紐付くクレジットカードは夫が持っている。私だけで買い物する際は、毎月引き出す一定額の現金の中でやりくり(茨城・育休中・3歳と0歳の母)」という「共同で管理」する家庭も一定数存在しています。

■7割近くが「FPに家計診断してほしい」。家計に不安を抱く家庭は多い



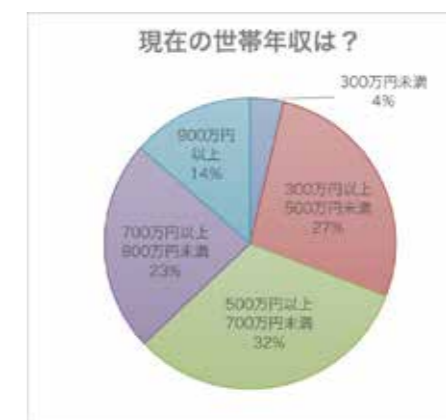
ファイナンシャルプランナーに相談したいことは?

- 家計簿をつけ出したが、単に支出の把握にとどまっている。無駄を洗い出して、家計簿に予算をつけて管理したい。(栃木・専業主婦・2歳の母)
- 老後が心配。子どもに教育費をかけ終えた後、夫婦二人で豊かに過ごすお金が残っているのか不安。(栃木・正社員・6歳と3歳の母)
- 将来どれだけの教育費がかかるのか、毎月どの程度貯金するのが良いのか気になる。(茨城・正社員・2歳の母)
- 毎月ギリギリなのに、これから幼稚園で出費が増えた時、どのように家計を管理すればいいのかわからない。2人目も欲しいが、更にお金がかかる事を思うと働きに出ないといけなのかわからない。(栃木・専業主婦・1歳の母)

また、家計への問題意識を探るため、「ファイナンシャルプランナーに家計診断してほしいと思うか?」との質問も行いました。今回は、「クルール」誌面上での家計診断希望者を募る目的もあったため、「無料でできる場合」との注釈付きでの質問ではありましたが、68%が「家計診断してほしい」と回答。現在や将来の家計に不安があり、専門家に相談したいと希望する子育てママが多いこと、「ファイナンシャルプランナーへの相談」を身近に感じていることが伺えます。

■7割近くの子育て家族が、世帯年収500万円以上

今回、回答を寄せた子育てママの世帯年収は、500万円以上700万円未満が32%、700万円以上900万円未満が23%でした。全国の世帯年収の平均541.9万円を超える年収があっても、家計のやりくりに悩む子育て世帯は少なくないと言えます。



このプレスリリースについてのお問い合わせは

株式会社クルール・プロジェ 担当: 高川(たかがわ)

TEL:028-614-2558 FAX:028-610-5370 e-mail:info@couleur-projet.co.jp

■会社概要

株式会社クルール・プロジェ

http://www.couleur-projet.co.jp

所在地 栃木県宇都宮市築瀬町1784-2 YanazeBLDG 2F・4F

設立 2005年12月22日

資本金 2,000万円

代表者 代表取締役 阿久津 潤

事業内容 企画・編集・制作・マーケティング